

令和7年度

回覧



出雲サンサン保育園子育て支援事業



“サンサンへ行こう!!”

2025年8月

今年の夏は長期間の高気温に加え、雨がほとんど降らず、厳しい暑さが続いています。保育園の畑では各クラスがスイカやキュウリなど様々な夏野菜を育てていますが、野菜が水不足にならないように、子どもたちが毎日水やりを頑張っています。

たくさん遊んでいっぱい食べて…そしてしっかりと水分と休息を取りながら、体調に気を付けて、暑い夏を元気に過ごしていきたいですね。

水あそび たのしいな

保育園の子どもたちは、プールに水遊び真っ只中！ジョーロやカップで水をすくって“ジャー”と流したり、カエルやワニになりきって、水の中で泳いでみたり、大きいクラスの子どもたちは、顔つけにも挑戦しています！暑さが続く中で、冷たい水の心地良さに癒されながら、水遊びを楽しんでいますよ。ぜひ、一緒に保育園のお友だちと水遊びを楽しみましょう！



～夏祭り～

先日、保育園の夏祭りを行いました。オープニングは年長児の太鼓演奏、また年中、年少児の踊りで始まり、園内では様々なブースが設置されました。パンやかき氷、おにぎり、カレーなどのお店、そして各クラスでは、子どもたちが考えて準備してきた「たいよう縁日」「やくもクレープ」「フルーツパラダイス」のお店が開かれ、園内は大賑わいとなりました。



8月のサンサンへ行こう！

保育園のプールで水遊びを楽しみましょう！

- ・日 時 8月7日(木) 9:30～10:30
- ・持ち物 水着、着替え、タオル、帽子、水筒（水分補給）

※雨天時は、室内でふれあい遊びや運動遊びをします。

来月は、9/25(木)の予定です。

☆参加希望の方は、保育園までご連絡ください。

☎ 0853-43-7033



ホームページも是非ご覧ください。



令和7年度

回覧



出雲サンサン保育園子育て支援事業

子育て相談の日

2025年8月

相談日 ★第1・第3木曜日 9:15~15:00

★土曜日（事前に連絡してください）

*上記以外でも気軽にお電話ください

★神西ふれあい子育てサロン『すくすく相談日』には、
保育園の職員も出向く予定です。

【連絡先】

出雲サンサン保育園

☎ 43-7033

fax 43-7833

毎日暑い日が続く、夏本番です。熱中症も心配ですが、夏の暑さで疲れがでやすくなります。普段よりもしっかりと休息をとれるようにしていきたいですね。



子どもの好き嫌い、どうしたらいいの？



日々の育児お疲れ様です。毎日お子さんの食事を考えるのはとても大変ですよ。育児の悩みで一番多いのが『食事について』とも言われています。保育園でも好き嫌い（偏食）で悩んでおられる保護者さんの声をよく耳にします。好き嫌いが出てくるのは自己主張や自我の芽生えなので、悪いことではなく、むしろ普通のことです。好き嫌いには「見た目」、「におい」、「温度」、「食感」、「環境」など様々な要因があります。食事のポイントや保育園での食事の様子などをご紹介します。

《食べる前から楽しい 雰囲気作りを》

- 簡単な調理を一緒にする
- 食器や食べる席を選ばせてあげる
- 盛り付けをさせてあげる



《調理方法の工夫を》

- 細かく刻む
- 柔らかく炊く
- 好みの味付けにする
（同じ食材でも味が変われば食べれることも！）



《少量から少しずつ 量を増やして》

- ① 一口量を出す
→ 食べたら褒める
- ② もう少し量を増やす
→ 食べたら褒める

出雲サンサン保育園では子どもの「食べる力」を育てています。無理なく楽しく食事を！



無理に食べさせようとせず、まずは“みんなで食事をすることの楽しさ”を感じてもらうことが大切です。

○「嫌いなものは減らしていい。でも、一口だけは食べてみよう！」と伝えると、少しずつ食べられるものが増えていきます。子どもは自分の食べられる量を決めてOK！

○環境づくり

- 保育園は友だちと一緒に楽しい食事時間です。1人で食べると食も進みにくいので、家族みんなで食べましょう！そして、テレビを消して、食事に集中できる空間を作りましょう。
- 「こぼしても大丈夫」と安心できる雰囲気を作りましょう。食事中のプレッシャー（叱られる、急かされる）は、子どもの食欲を低下させる原因のひとつになります。逆に、リラックスした雰囲気だと「食べたい」という意欲が自然に湧いてきます。

○「食べるのって楽しい！」と思える仕掛けづくり

- 色の工夫やワンプレート、時にはご飯抜き型を使ってお子様ランチ風に！「食べたい！」を引き出します。

脳には「ミラーニューロン」という、他人の行動を真似する働きがあります。子どもは大人の「美味しそうに食べる姿」を見ることで、自然と「食べたい！」という気持ちになります。大人が「美味しい！」と言いながら楽しんで食べることが大切です。苦手な食材を食べる時は「お父さん（お母さん）もチャレンジしてみる！」と見せてあげましょう。